

Ⅱ 文化芸術施設の概要

1 札幌芸術の森

札幌芸術の森は、「文化芸術都市さっぽろ」のシンボルとして、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ、新しい芸術文化の場として、自然と都市、芸術、文化が調和した環境づくりを目指しており、広く札幌市民に愛され親しまれている施設である。

また、豊かな自然環境の中で、音楽・舞台芸術・工芸などの創作・発表、野外美術館や屋内美術館での美術鑑賞など、施設を活用した多彩な事業を展開しており、札幌の文化芸術の振興や人材育成の拠点として、着実に成果をあげ、市における創造的な文化芸術環境づくりに貢献している施設である。



(1) 施設概要

所在地：南区芸術の森2丁目75番地

電話番号：011-592-5111 FAX：011-592-4120

開園時間：午前9時45分～午後5時（6月1日～8月31日は午後5時30分まで）

休園日：4月29日から11月3日まで 無休

11月4日から翌年4月28日まで毎週月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、
年末年始（12月29日～1月3日）

敷地面積：389,653.82㎡

<施設内容>

施設名	面積(㎡)	摘要
芸術の森センター	1,876	管理棟、2階部分はレストラン
野外美術館	75,000	彫刻64作家74点を公開
屋内美術館	3,370	ショップ、喫茶を併設。 展示室851㎡、展示ロビー173㎡、B展示室90㎡など
アートホール	5,834	アリーナ645㎡、大練習室488㎡、中練習室171㎡、小練習室6室合計224㎡、ピアノ練習室25㎡、特別控室31㎡など
工芸館	1,100	展示ホール271㎡、染色研修室89㎡、織研修室92㎡など
陶工房	522	陶芸研修室100㎡など
クラフト工房	1,097	団体工芸体験施設。大・中・小制作室
木工房	212	木工研修室150㎡など
版画工房	430	版画研修室227㎡など
ロッジ	80	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエA	145	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエB	113	休憩、炊事設備あり
多目的アトリエ	133	休憩、炊事設備あり
有島武郎旧邸	259	有島武郎の資料を展示(無料開放)
野外ステージ	7,000	ステージ・楽屋棟延面積1,766㎡(ステージ面積348㎡)最大観客数5,000人
佐藤忠良記念子どもアトリエ	345	展示室99.62㎡、ワークショップ・ルーム49.69㎡ 図書コーナー24.21㎡など

<所蔵作品数>

(令和5年3月31日現在)

技法的区分	点数	分野別			取得方法別		
		北海道	日本	海外	購入	受贈	管理換等
油 彩	647	629	18	0	8	616	23
水彩・素描	156	108	45	3	23	132	1
日 本 画	41	39	2	0	0	38	3
版 画	346	286	33	27	5	340	1
写 真	82	36	45	1	0	82	0
彫 刻	279	173	77	29	100	178	1
うち野外美術館	74	21	40	13	67	2	5
工 芸	10	9	1	0	0	10	0
デザイン	31	28	3	0	0	31	0
部族芸術	118	0	0	118	0	118	0
合 計	1,784	1,329	264	191	203	1,547	34

(2) 施設の使用料

ア 観覧料

区分		使用料		備考
		単位	金額	
野外美術館	個人	観覧1人1回につき	700円(11月4日から翌年4月28日までは100円)	中学生、小学生及び小学校入学前の者は、無料とする。
	団体(20人以上)		630円(11月4日から翌年4月28日までは、90円)	
屋内美術館	所蔵品展	個人	観覧1人1回につき	200円
				団体(20人以上)
	特別展	個人	観覧1人1回につき	1,500円の範囲内でその都度市長の承認を得て定める額

イ 野外ステージ及びアートホール

区分		使用料		備考		
		単位	金額			
野外ステージ	入場料の類を徴収しない場合		1日につき	46,000円	(1) 「1日」とは、供用時間をいう。 (2) 市長が供用時間を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、1時間当たりの利用料金を2割増した額を加算する。 (3) 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。 (4) 備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用し場合は、市長の承認が定めるところにより、その使用に係る実費相当額を徴収する。 (5) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。	
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円以下のとき		46,000円		
		入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき		92,000円		
		入場料の類の最高額が2,000円を超え5,000円以下のとき		184,000円		
		入場料の類の最高額が5,000円を超えるとき		368,000円		
アートステージ	小練習室		昼間	1,100円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。	
			夜間	1,100円		
			昼夜間	1,600円		
			全日	2,100円		
	中練習室		昼間	3,700円		
			夜間	3,700円		
			昼夜間	5,600円		
			全日	7,400円		
	大練習室		昼間	11,100円		
			夜間	11,100円		
			昼夜間	16,700円		
			全日	22,200円		
	ピアノ練習室		昼間	1,300円		
			夜間	1,300円		
			昼夜間	1,900円		
			全日	2,500円		
	アリーナ	入場料の類を徴収しない場合		昼間		18,500円
				夜間		18,500円
				昼夜間		27,800円
				全日		37,000円
入場料の類を徴収する場合		入場料の類の最高額が500円以下のとき	昼間	18,500円		
			夜間	18,500円		
			昼夜間	27,800円		
			全日	37,000円		
		入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき	昼間	37,000円		
			夜間	37,000円		
			昼夜間	55,600円		
			全日	74,000円		
入場料の類の最高額が2,000円を超えるとき		昼間	74,000円			
		夜間	74,000円			
		昼夜間	111,200円			
		全日	148,000円			
特別控室		昼間	800円			
		夜間	800円			
		昼夜間	1,200円			
		全日	1,600円			

ウ 研修室等

区分		使用料		備考	
		単位	金額		
研修室	染色研修室	個人使用	昼間	400円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。 (7) アトリエ又はロッジを継続して8日以上全日使用する場合の使用料は、当該使用期間のうち8日目を降14日目までの期間にあっては、アトリエについては1日につき3,600円、ロッジについては1日につき2,200円とし、15日目を降の期間にあっては、アトリエについては1日につき2,700円、ロッジについては1日につき1,600円とする。 (8) 備付物件の使用料は、市長が別に定める。 (9) アトリエ及びロッジの暖房等に係る経費並びに備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用した場合の経費は、市長が定めるところにより、その実費相当額を徴収する。 (10) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。
			夜間	400円	
			昼夜間	530円	
		専用使用	昼間	1,600円	
			夜間	1,600円	
			昼夜間	2,100円	
	陶芸研修室	個人使用	昼間	400円	
			夜間	400円	
			昼夜間	520円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	木工研修室	個人使用	昼間	300円	
			夜間	300円	
			昼夜間	390円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	織研修室	個人使用	昼間	250円	
			夜間	250円	
昼夜間			330円		
専用使用		昼間	3,000円		
		夜間	3,000円		
		昼夜間	3,900円		
版画研修室	個人使用	昼間	320円		
		夜間	320円		
		昼夜間	420円		
	専用使用	昼間	3,200円		
		夜間	3,200円		
		昼夜間	4,200円		
登り窯研修室		1日につき	5,100円		
汎用陶芸窯研修室		1室1日につき	1,100円		

エ アトリエ・ロッジ・駐車場

区分		使用料	
		単位	金額
絵画アトリエA 絵画アトリエB 多目的アトリエ	1棟につき	昼間	2,700円
		夜間	2,700円
		昼夜間	3,600円
		全日	5,300円
ロッジ	1棟につき	昼間	1,600円
		夜間	1,600円
		昼夜間	2,200円
		全日	3,200円
駐車場	大型自動車	1両1回につき	1,200円
	普通自動車		500円
	回数券使用 普通自動車	回数券6枚つづり	2,500円

(3) 利用状況

ア 入園・入館者数

(単位：人)

	総入園者数	野外美術館	佐藤忠良記念 子どもアトリエ	芸術の森 美術館	工芸館	有島武郎旧邸
平成30年度	351,955	55,938	18,690	93,239	60,725	10,961
令和元年度	607,759	79,299	25,051	247,096	132,911	14,790
令和2年度	434,520	61,246	17,399	177,066	124,522	11,007
令和3年度	271,719	22,221	3,816	109,390	68,804	2,197
令和4年度	410,210	61,451	15,679	145,398	107,354	8,044

イ 野外ステージ及びアートホール内施設利用状況

	野外ステージ			アリーナ			大練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成30年度	20.2	36	20,426	66.4	223	18,129	52.9	173	8,498
令和元年度	20.9	39	26,419	58.5	196	13,876	48.8	165	6,736
令和2年度	16.4	25	2,443	65.2	194	10,715	48.6	142	4,257
令和3年度	67.5	27	8,736	73.9	199	17,330	58.8	142	4,802
令和4年度	24.0	44	9,963	67.8	244	15,056	65.3	219	6,748

	中練習室			小練習室(1~6)			ピアノ練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成30年度	61.3	246	3,578	50.9	1,073	6,070	95.7	444	1,080
令和元年度	57.2	222	2,771	45.8	976	5,491	88.6	405	1,047
令和2年度	58.9	198	1,996	32.4	601	2,359	92.7	417	775
令和3年度	58.6	137	1,617	46.6	645	2,919	98.1	378	851
令和4年度	66.6	234	2,211	52.7	1,140	4,586	99.1	556	1,262

ウ 工房等施設利用状況

	染色研修室			織研修室			木工研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成30年度	63.5	251	880	87.3	832	1,481	99.4	1,361	1,688
令和元年度	63.6	217	674	65.0	305	569	100.0	1,443	1,713
令和2年度	31.8	116	144	35.9	104	148	99.6	941	1,021
令和3年度	40.8	86	187	14.6	31	51	99	753	965
令和4年度	31.3	116	218	29.3	98	170	98.1	1,248	1,492

	陶芸研修室			版画研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成30年度	97.2	1,172	1,172	98.4	1,004	1,420
令和元年度	96.6	1,317	1,317	98.0	1,141	1,488
令和2年度	94.3	877	874	98.3	728	861
令和3年度	88.4	591	591	98.5	714	899
令和4年度	98.1	1,328	1,324	97.8	898	1,113

エ アトリエ・ロジック利用状況

	絵画アトリエA・B			ロジック			多目的アトリエ		
	利用率 (%)	延利用件数 (件)	延利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成30年度	25.3	126	1,205	34.7	113	937	21.2	70	545
令和元年度	31.5	212	1,723	29.1	96	847	21.3	70	591
令和2年度	15.0	78	449	14.6	38	171	10.6	28	126
令和3年度	17.8	74	473	13	27	81	11.6	24	101
令和4年度	16.2	111	781	19	63	300	12.4	41	266

(4) 事業概要

ア 音楽・舞台芸術事業

事業内容	開催期間	入場者数等	摘要
(ア) 札幌の文化芸術発信事業			
サッポロ・シティ・ジャズ 2022	通年 夏 4.7.16-8.28 冬 4.12.2-5.2.26	75,682 人	入場者数
(イ) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業			
第23期札幌ジュニア・ジャズスクール	通年	37 人	参加者数
(ウ) 芸術文化を通じた市民活動の促進			
パークジャズライブ	4.7.16-17	21,429	入場者数
ジャズセーバーズ	4.7.14-5.2.9	472 人	活動人数
芸森アートマーケット	4.5.29 他4回	1,323 人	入場者数
(エ) 質の高い文化芸術の創造・提供事業			
ビッグバンドプロジェクト定期演奏会	5.1.28-29	740 人	入場者数
(オ) 各種団体との連携による文化芸術の振興			
各種団体共催・施設利用促進事業	—	1,877 人	入場者数

イ 芸術の森美術館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
PIXAR のひみつ展	4.4.19-6.28	67,908 人
銀の匙 Silver Spoon	4.7.16-9.11	23,526 人
北海道の建築展 2022 受け継がれて進む地域性を見つめて	4.9.23-10.10	4,370 人
北海道陶芸の変遷 vol.2 ー現代陶芸の今ー	4.10.22-11.6	2,369 人
野田弘志ー真理のリアリズムー	4.11.19-5.1.15	18,688 人
札幌美術展 昨日の名残 明日の気配	5.1.28-3.12	4,023 人
札幌芸術の森美術館コレクション選 サッポロ レトロ&モダン	4.7.16-9.11	9,443 人
札幌芸術の森美術館コレクション選 加藤顕清 そこに「人間像」はあるか	4.11.19-5.3.12	14,837 人
(イ) 野外美術館		
ボランティアによる作品解説及び鑑賞サポート	4.4.29-11.3	414 人
彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ	通年	607 冊
(ウ) 教育普及事業		
佐藤忠良子記念どもアトリエワークショップ	通年	736 人
子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム	4.5.17-5.2.28	13,622 人
(エ) 利用促進		
ミュージアムショップ運営	通年	—
(オ) 人材育成		
博物館実習生受入	4.10.25-11.1	7 人
ボランティア受入	通年	109 人

ウ 工芸・工房事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
第28回芸術の森地区文化祭	4.11.5-6	463人
第22期工芸館常設展示事業	4.7.16-5.3.26	41,040人
北海道陶芸協会小品展	4.9.23-11.6	4,270人
(イ) 普及事業		
講習会事業（延実施回数：316回）	通年	3,432人

エ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 広報活動		
ホームページ、SNSの活用	—	—
総合案内パンフレットや集客チラシの製作・配布	—	—
ニュースリリース「今週の芸森。」	—	—
(イ) 地域連携		
芸術の森地区オリエンテーリング大会	4.10.8	—
第28回芸術の森地区文化祭（再掲）	4.11.5-6	463人
雪あかりの祭典「SAPPORO ART CAMP 2023」-YUKIMI HANAMI-	5.2.12-19	3,582人
職場体験受け入れ	4.6.13-22	1人
(ウ) 四季を通じた集客・施設開放事業の実施		
野外美術館謎解きイベント・月夜の空想ミュージアム	4.7.22-11.3	14,662人
ホールでピアノを弾いてみよう！in札幌芸術の森	4.10.27 他2回	43人
てくてくMORIさんぽ	4.4.29-5.5	108人
芸森バースデー2022	4.7.23-24	130人
有島武郎旧邸朗読会『有島武郎がたどり着いた場所』	4.9.18	38人
あしたのげいもり	4.9.24	343人
芸森かんじきウォーク	5.1.7-3.12	1,693人
雪あかりの祭典「SAPPORO ART CAMP 2023」-YUKIMI HANAMI- （再掲）	5.2.12-19	3,582人

2 札幌コンサートホール「Kitara」

札幌市の音楽文化の中核施設として平成9年7月4日にオープン。

楽器の生の音を最大限に引き出せるように音響設計された世界水準のコンサートホールであり、アリーナ型の大ホールとシューボックス型の小ホールの、2つの異なった個性のホールを備えている。

優れた音響環境での演奏会を楽しむことができるよう、全公演にチケットテイク、クローク、座席への案内等を専門に行うレセプションを配置したことも特徴となっている。

「Kitara」の事業展開は「国内外の音楽家が集い、札幌から音楽を創造する空間」、「市民の教育の場としての空間」をコンセプトとしており、主催事業と貸館事業の2つの事業から構成されている。主催事業では国内外の一流アーティストを招き、世界水準の音楽との出会いの場となるような事業など、市民の幅広い期待に応えた事業を展開している。



(1) 施設概要

所在地：中央区中島公園1番15号

電話：011-520-2000

FAX：011-520-1575

規模：建築面積：8,383 m²、延床面積：20,746 m²

開設：平成9年7月4日

総事業費：約191億円

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上3階建

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：毎月第1・3月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

<施設内容>

施設名	面積(m ²)	備考
大ホール	2,241.86	客席数2,008席。アリーナ型ワインヤード方式。ステージ20m×13.5m、電動式の分割式オーケストラ迫りを設置。4管編成のフルオーケストラ(120人)まで対応可能。
小ホール	758.38	客席数453席。シューボックス型オープンステージ。ステージ14m×8.7m。室内楽から30人編成程度の小編成オーケストラの演奏まで対応可能。
大リハーサル室	292.50	公演時のリハーサルに使用するほか、合唱団等の控室としても対応可能。
小リハーサル室A	58.50	
小リハーサル室B	51.09	
楽屋	622.02	計19室、大ホール(13室)、小ホール(6室)。トイレ、シャワー、洗面台、クローゼット、化粧台等。
ギャラリー	52.80	札幌コンサートホールのパネル展示
ショップ	27.65	プレイガイド、コンサート及びクラシック音楽情報等の提供。
その他		レストラン、カフェコーナー、託児室、クロークなど

(2) 施設の使用料

ア ホール利用料金 ((7)+(イ)+(ウ))

(7) 施設利用料金

室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※()内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※()内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※()内は土日祝
大ホール	全面を使用する場合	113,600 (136,400)	151,300 (181,600)	197,700 (237,200)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	102,200 (122,600)	136,200 (163,400)	177,900 (213,500)
	3階客席の部分以外を使用する場合	90,800 (109,000)	121,000 (145,200)	158,200 (189,800)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
		午前 (9:00~12:00) ※()内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※()内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※()内は土日祝
	全面を使用する場合	56,800 (68,200)	56,800 (68,200)	94,500 (113,400)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	51,100 (61,300)	51,100 (61,300)	85,100 (102,100)
	3階客席の部分以外を使用する場合	45,400 (54,500)	45,400 (54,500)	75,600 (90,700)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)
合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)	
室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※()内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※()内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※()内は土日祝
小ホール	全面を使用する場合	51,600 (73,000)	69,000 (97,500)	90,100 (127,200)
	2階客席の部分以外を使用する場合	38,800 (54,800)	51,800 (73,100)	67,600 (95,400)
		午前 (9:00~12:00) ※()内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※()内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※()内は土日祝
	全面を使用する場合	25,800 (36,500)	25,800 (36,500)	43,200 (61,000)
	2階客席の部分以外を使用する場合	19,400 (27,400)	19,400 (27,400)	32,400 (45,700)

※ 入場料の類で、その最高額が2,000円を超え、4,000円以下のものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は10割増とする。

※ 上記にかかわらず、入場料の類でその最高額が4,000円を超えるものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は、催しへの入場の機会が住民に公平に与えられないときの使用料は20割増とする。

※ 小ホールにおいては、アマチュア等非営利の団体・個人の小ホールでの公演及び練習について、直前期間(利用日の前月10日から利用日の15日前まで)の申込みで、施設利用料金、舞台技術料金、レセプション料金等が割引となる直前割引制度がある。

(イ) 舞台技術料

室名	午前・午後 (9:00~16:00)	午後・夜間 (13:00~22:00)	全日 (9:00~22:00)	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~22:00)
大ホール	62,400		75,000		53,100	
小ホール	41,600		50,000		35,400	

(ウ) レセプション料

室名	区分	夏期 (4/15～10/14)	冬期 (10/15～翌4/14)
大ホール	全面を使用する場合	113,800	150,200
	合唱団席の部分以外を使用する場合	104,700	141,100
	3階客席の部分以外を使用する場合	95,600	122,900
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	81,900	109,200
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	91,000	118,300
小ホール	全面を使用する場合	41,000	54,600
	2階客席の部分以外を使用する場合	27,300	36,400

イ リハーサル室料金

室名	区分	午前・午後 (9:00～16:00)	午後・夜間 (13:00～22:00)	全日 (9:00～22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使用しないとき	18,600	24,700	32,300
	営利又は営業の目的で使用するとき	37,200	49,400	64,600
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使用しないとき	3,600	4,900	6,400
	営利又は営業の目的で使用するとき	7,200	9,800	12,800
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使用しないとき	3,200	4,300	5,600
	営利又は営業の目的で使用するとき	6,400	8,600	11,200
室名	区分	午 前 (9:00～12:00)	午 後 (13:00～16:00)	夜 間 (17:00～22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使用しないとき	9,300	9,300	15,400
	営利又は営業の目的で使用するとき	18,600	18,600	30,800
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使用しないとき	1,800	1,800	3,100
	営利又は営業の目的で使用するとき	3,600	3,600	6,200
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使用しないとき	1,600	1,600	2,700
	営利又は営業の目的で使用するとき	3,200	3,200	5,400

(3) 利用状況

ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	令和2年度	135	61	45.2	71
	令和3年度	216	170	78.7	186
	令和4年度	296	241	81.4	264
小ホール	令和2年度	141	38	27.0	44
	令和3年度	217	133	61.3	146
	令和4年度	306	224	73.2	245

イ 公演利用状況

室名	年度	貸 館		自 主		合 計	
		件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)
大ホール	令和2年度	39	23,219	3	1,885	42	25,104
	令和3年度	106	93,999	21	23,774	127	117,773
	令和4年度	152	173,582	35	42,861	187	216,443
小ホール	令和2年度	22	3,294	3	463	25	3,757
	令和3年度	87	15,782	8	1,915	95	17,697
	令和4年度	142	34,367	19	5,957	161	40,324
合 計	令和2年度	61	26,513	6	2,348	67	28,861
	令和3年度	193	109,781	29	25,689	222	135,470
	令和4年度	294	207,949	54	48,818	348	256,767
平成9年からのホール利用累計		8,252	7,835,442	1,195	1,012,607	9,447	8,848,049

(4) 事業概要

ア 音楽鑑賞事業（音楽のすばらしさを「伝える」）

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民からのニーズが高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による魅力的な鑑賞事業を実施。

事業内容	開催期間	入場者数等
オーケストラシリーズ	4.10.3 ほか2日	3,695人
ソリストシリーズ	4.9.18 ほか3日	3,215人
室内楽シリーズ	4.6.4 ほか2日	912人

イ 音楽普及事業（音楽を「広げる」）

札幌の貴重な音楽財産である札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽文化の普及を図った。

事業内容	開催期間	入場者数等
オルガン事業	4.5.5 ほか5日	6,390人
札幌交響楽団シリーズ	4.5.3 ほか2日	4,740人
地元音楽家の活動支援・地元音楽団体との連携事業	4.5.4 ほか3日	928人
Kitara アフタヌーンコンサート	4.6.12 ほか3日	1,592人
ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると	4.5.3-5	4,866人
社会包摂事業	4.9.14 ほか1日	3,438人

ウ 教育・人材育成事業（音楽で人を「育む」）

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホール機能を生かして世界トップレベルの音楽セミナーを企画。

事業内容	開催期間	入場者数等
エデュケーションプログラム	4.5.3 ほか9日	22,882人
アウトリーチ事業	4.4.16 ほか2日	288人
セミナー事業	5.2.22-26 ほか3日	1,538人
北海道教育大学、札幌大谷大学連携事業	4.5.4 ほか3日	460人

エ 全国ホール等とのネットワーク事業

交流協定都市や全国類似ホール等と広く情報交換しながら、共同で事業を企画制作するとともに、音楽家の招聘を行った。また、札幌コンサートホールが招聘する音楽家を他都市に紹介し公演を実施した。

事業内容	開催期間	入場者数等
ネットワーク事業	4.4.9 ほか7日	3,292人

オ PR活動の充実

(7) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、コンサートスケジュール「KitaraNEWS」を年間6回発行するなど、様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

(イ) 防災訓練・見学ツアー・ゆきあかり in 中島公園

札幌市民に来場者として参加していただく防災訓練や、コンサートホールへの親しみや関心を喚起し、ホール利用を促進することを目的とした見学ツアーなどを実施した。

(ウ) PMF 共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）の主旨に賛同し、共催事業を行った。

カ チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われる公演チケット等の対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整えた。

キ Kitara ボランティアとの連携

札幌コンサートホールの支援組織である「Kitara ボランティア」との連携により、主催事業等の充実化やKitara のPR に取り組んだ。（令和5年3月現在の登録人数：85名）

ク Kitara Club の運営

（令和5年3月31日現在）

会員種別	個人会員(人)				法人会員(団体)			
	個人	家族	ゴールド	合計	団体	維持	ゴールド	合計
登録人数・団体数	3,157	866	77	4,100	11	34	5	50

3 札幌市教育文化会館

本市における文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、昭和52年7月に開館した。

施設は、客席1,100席で大迫り・小迫り・オペラカーテンなど高度な舞台機能を有する大ホール、客席360席の小ホール、各種研修室、練習室、リハーサル室、講堂のほか、平成23年3月には屋根や脇正面座席の新設、橋掛の延長を施した本格的な能舞台を整備している。

音楽、舞踊、演劇などの制作・発表の場として、また、各種会議や研修会などに利用されているほか、これらの機能を活かした自主事業も展開しており、文化芸術活動の拠点の一つとしての役割を担っている。

(1) 施設概要

所在地：中央区北1条西13丁目

電話：011-271-5821

F A X：011-271-1916

規模：敷地面積：11,929㎡、延床面積：16,372.06㎡

開館：昭和52年7月（大ホール 昭和55年10月）

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建

開館時間：午前8時45分～午後9時

休館日：毎月第2・4月曜日(当該月曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)



<施設内容>

施設名	面積 (㎡)	備考
大ホール	3,008	客席数1,100席(1階484席、2階616席)、楽屋7室
小ホール	990	客席数360席、楽屋3室
リハーサル室A	206	アップライトピアノ・鏡・バレエバー
リハーサル室B	87	鏡・バレエバー
練習室A	74	アップライトピアノ
練習室B	74	アップライトピアノ
研修室301	218	135席
研修室302	133	72席
研修室303	41	24席
研修室304	42	24席
研修室305	249	156席
研修室401	163	72席、アップライトピアノ
研修室402	128	54席
研修室403	204	84席
講堂	225	固定156席
ギャラリー	105	全周壁面長さ38m

(2) 施設の使用料金

室名	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~21:00)	全日 (9:00~21:00)
	※ () 内は土日祝	※ () 内は土日祝	※ () 内は土日祝	※ () 内は土日祝
大ホール	60,900円	60,900円	81,300円	193,900円
	(75,700円)	(75,700円)	(101,600円)	(240,000円)
小ホール	27,700円	27,700円	36,900円	86,800円
	(33,200円)	(33,200円)	(44,400円)	(105,300円)
リハーサル室A	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
リハーサル室B	2,900円	2,900円	3,700円	8,500円
練習室A	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
練習室B	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
研修室301	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
研修室302	4,300円	4,300円	5,400円	13,100円
研修室303	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室304	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室305	7,900円	7,900円	10,800円	25,200円
研修室401	5,300円	5,300円	6,800円	16,100円
研修室402	3,800円	3,800円	5,300円	12,200円
研修室403	6,100円	6,100円	8,400円	19,400円
講堂	6,800円	6,800円	9,000円	21,200円
ギャラリー	営利又は営業以外の目的で使用する場合			7,000円
	営利又は営業の	美術に関する催物を行う場合		28,000円
	目的で使用する場合	美術に関する催物以外を行う場合		31,500円

※ 割増料金

入場料にかかわらず、営利団体の利用や営業の目的で利用する場合は10割増とする。

非営利団体の利用又は非営利目的で利用する場合でも、入場料等の額（入場料等に段階があるときは、その最高額とする。）が2,000円を超え4,000円以下のもの（大ホールにあつては、1,800円を超え3,500円以下のもの）を徴収する場合は10割増とする。

上記にかかわらず、入場料等の額が4,000円を超えるもの（大ホールにあつては3,500円を超えるもの）を徴収する場合の使用料は、20割増とする。

※ 小ホールの練習限定割引料金

申込日から60日先までの空き日については、コーラス・舞踊・演劇等の練習に限定し、リハーサル室Aと同額の料金で利用できる（条件等あり）。

(3) 利用状況

ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	令和2年度	268	111	41.4	117
	令和3年度	313	171	54.6	180
	令和4年度	243	179	73.7	188
小ホール	令和2年度	270	133	49.3	149
	令和3年度	315	197	62.5	231
	令和4年度	246	200	81.3	250

イ 内容別利用状況（件）

年 度	邦楽	洋楽	演劇	邦舞	洋舞	合唱	古典	映画	会議	研修	その他	合計
令和2年度	15	109	118	27	146	15	27	5	431	600	554	2,047
令和3年度	20	171	91	97	234	43	24	17	509	787	830	2,823
令和4年度	45	177	109	105	271	43	44	28	563	804	1,109	3,298

ウ 総利用者数（人）

年 度	入場者数
令和2年度	123,761
令和3年度	198,699
令和4年度	265,544

(4) 事業概要

ア 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」	4. 7. 20	大ホール	635人
人形浄瑠璃文楽	4. 10. 3	大ホール	686人

イ 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教文演劇フェスティバル2022	4. 9. 18	大ホール	247人
教文オペラプログラム LCアルモーニカ 「あまんじゃくとうりこひめ」「泣いた赤鬼」	4. 8. 14	大ホール	425人
教文オペラプログラム 北海道二期会 「皇帝ティトの慈悲」	4. 11. 19-20	大ホール	1,364人
教文オペラファミリープログラム ちいさな人のためのオペラ「スイミー」	4. 5. 3	小ホール	131人
教文オペラ 歌のお届けコンサートプログラム	4. 10. 19 4. 10. 28	前田中央小 稲積小	468人 107人※

※ うち、校内テレビ放送による視聴96人

ウ 文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
能楽鑑賞のひとつき	4. 4. 29	大ホール	265人
人形浄瑠璃 2022 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演	4. 8. 27-28	小ホール	632人
第62回子ども舞踊祭（令和3年度延期分）	4. 4. 1	大ホール	908人
第63回子ども舞踊祭	5. 3. 28	大ホール	1,154人

エ 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
子ども演劇ワークショップ	4. 10. 8-11. 20	小ホールほか	参加者 9 人 鑑賞者 26 人
小・中学生のための能楽入門ワークショップ	4. 7. 30-31	研修室 401	6 人
夏休み子ども体験新喜劇 ワークショップ	4. 8. 5-7	研修室 401	参加者 9 人 見学者 20 人
子どものためのオペレッタワークショップ	4. 5. 8-8. 19	大ホールほか	参加者 30 人 鑑賞者 475 人

オ 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教文 13 丁目笑劇一座	4. 10. 20 他 3 回	研修室 401	28 人
高橋竜太ダンスワークショップ DAYS in Sapporo	4. 5. 4-5	小ホール	参加者 40 人 見学者 49 人

カ 学校教育における芸術文化活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
第 38 回札幌市小学校児童音楽祭	4. 12. 10	大ホールほか	中止
第 74 回札幌市中学校音楽会	4. 10. 31	大ホール	1, 144 人
第 68 回高文連石狩支部演奏会	4. 6. 23-24	大ホール	1, 500 人
中文連演劇ワークショップ 2022	4. 5. 14	小ホールほか	191 人
第 37 回札幌市中文連演劇発表会	4. 8. 2-4	小ホール	560 人※1
第 72 回高文連石狩支部高校演劇発表大会	4. 10. 4-10	小ホール	3, 000 人
第 17 回北海道中学生演劇発表大会	4. 11. 26-27	小ホール	250 人※2

※1YouTube 視聴者数 4, 283 人

※2YouTube 視聴者数 639 人

キ 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集・提供事業

公立文化施設等とのネットワークを活用した情報収集、メディアの活用、主催事業におけるアンケート実施。

ク 広報活動

- ・情報誌の発行：情報誌「楽」（年 3 回 15, 000 部）、リーフレット「act」（年 3 回 15, 000 部）
- ・ホームページによる広報：令和 4 年度アクセス数：554, 675 件

4 札幌市民ギャラリー

文化芸術活動の促進を目的に、各種展覧会の拠点的会場として開館。

美術・書道の公募展や学生の作品展など、様々な展覧会の会場として利用されているほか、美術映画会などの主催事業も開催している。

(1) 施設概要

所在地：中央区南2条東6丁目

電話：011-271-5471

F A X：011-232-5539

規模：敷地面積：2,678.13㎡

延床面積：4,189.10㎡

開館：昭和57年2月28日

開館時間：午前8時45分～午後9時

休館日：月曜日（当該日が祝日の場合は開館）、

年末年始（12月29日～1月3日）



札幌市民ギャラリー外観

<展示室・展示ホール面積>

施設名	面積 (㎡)
第1展示室	265.5
第2展示室	200.0
第3展示室	208.0
第4展示室	200.0
第5展示室	204.0
予備展示室	63.5
展示ホール1	141.0
展示ホール2	72.0



札幌市民ギャラリー第2展示室

(2) 施設の使用料金

種別	単位	美術作品の展覧会又は展示会を行う場合		その他の展覧会等の催物で営利営業を目的とするものを行うもの		
		展示作品の販売を行わないもの	展示作品の販売を行うもの			
第1展示室	1日につき	15,500円	62,000円	70,500円		
第2展示室から第5展示室まで1展示室につき	A室	A室からE室まで各室1日につき	14,500円	2,900円	11,300円	12,700円
	B室			2,900円	11,300円	12,700円
	C室			2,900円	11,300円	12,700円
	D室			2,900円	11,300円	12,700円
	E室			2,900円	11,300円	12,700円
予備展示室	1日につき	4,200円	14,100円	16,900円		
展示ホール1	1日につき	3,100円	12,800円	14,600円		
展示ホール2	1日につき	2,100円	8,500円	9,600円		

(3) 利用状況

ア 展示室別利用率 (%)

年 度	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	展示ホール1	展示ホール2	予備展示室	合 計
令和2年度	43.9	38.7	37.9	34.6	27.5	39.4	39.4	25.3	35.8
令和3年度	86.3	82.5	74.9	58.1	62.2	63.2	67.0	36.2	66.3
令和4年度	92.6	86.3	85.3	88.7	87.3	81.9	83.3	51.5	82.1

イ 内容別展示室等の利用状況 (件)

年 度	絵画	工芸	彫刻	版画	陶芸	書道	華道	写真	その他	合計
令和2年度	70	13	6	3	15	517	0	10	137	771
令和3年度	534	102	63	27	37	621	0	52	235	1,671
令和4年度	417	131	23	18	38	465	0	70	178	1,340

ウ 入場者数 (人)

年 度	入場者数
令和2年度	38,225
令和3年度	81,822
令和4年度	73,954

(4) 事業概要

事業内容	開催期間	入場者数
市民ギャラリー美術映画会 気軽にアートの世界に親んでもらうため、昭和59年から毎年実施している。 〔上映内容〕「世界の名画～華麗なる巨匠たち～」シリーズ	①4.4.6 ②4.5.12 ③4.6.8 ④4.7.6 ⑤4.8.17 ⑥4.9.14 ⑦4.10.6 ⑧5.3.15	806人
市民ギャラリー スプリングコンサート	4.4.16	181人
市民ギャラリー 手作り作品市場	4.5.14	268人
陶芸体験教室 (市民ギャラリーワークショップ)	4.7.8-9	35人
七宝体験教室 (市民ギャラリーワークショップ)	4.8.6	19人
夏休みおえかきワークショップ (市民ギャラリーワークショップ)	4.8.14	132人
教文13丁目笑劇一座出張公演	4.7.18	中止
カルチャーナイト2022 オンライン開催	YouTube 配信期間 4.7.22-8.5	再生回数 146回
夏休み子ども映画会 (市民ギャラリー子ども映画会)	4.8.14	24人
春の子ども映画会 (市民ギャラリー子ども映画会)	5.3.21	62人
市民ギャラリーオータムコンサート	4.10.22	172人
中央区東地区連合町内会コンサート	4.10.10	160人
第66回札幌市中学校美術・書道展	4.10.26-30	4,860人
札幌圏大学生合同写真展 EX	5.3	中止

5 本郷新記念札幌彫刻美術館

本市ゆかりの彫刻家 故・本郷新氏の作品を収蔵・展示する美術館として、昭和56年6月29日に開館。平成19年4月1日から本市の公の施設となった。

記念館（旧アトリエ）と本館からなり、彫刻を中心とした美術文化の振興に寄与することを目的として、収蔵作品による常設展のほか、近年においては積極的に特別展や各種美術講座を開催している。



(1) 施設概要

所在地：中央区宮の森4条12丁目

電話番号：011-642-5709 FAX：011-642-5720

開館時間：午前10時～午後5時

休館日：月曜日（当該日が祝日等の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、

※ 展示替え等のため臨時休館あり

建物構造：（本館・記念館）鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積：（本館）1,165.88㎡（記念館）1,165.35㎡

延床面積：（本館）374.10㎡（記念館）437.07㎡

<施設内容>

展示室等		床面積（㎡）
本館	展示室 1	28.50
	展示室 2	64.80
	展示室 3	25.01
	展示室 4	25.65
	展示室 5	9.36
	ギャラリー	40.50
	研修室	45.65
記念館	展示室 1	51.34
	展示室 2	45.36
	展示室 3	35.28
	展示室 4	32.38
	展示室 5	31.50

<収蔵作品数>

（令和5年3月31日現在）

技法的区分	点数	取得方法			
		寄贈	寄託	新規	
彫刻	ブロンズ	156	143	1	12
	コンクリート	3	2	1	0
	樹脂	4	3	1	0
	木	14	14	0	0
	石	10	9	1	0
	石膏	365	163	202	0
	テラコッタ	64	57	7	0
	レリーフ	50	34	16	0
	その他	5	5	0	0
	油彩	126	108	18	0
素描	985	122	863	0	
版画	93	37	56	0	
画皿	6	5	1	0	
書	6	6	0	0	
合計	1,887	706	1,167	12	

(2) 施設の使用料

ア 観覧料の額

区分	観覧料				備考
	単位		金額		
			本館及び記念館 で実施する場合	記念館のみで実 施する場合	
常設展	個人	一般	1人1回につき	300円	200円
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		200円	100円
		65歳以上		250円	150円
	団体 (10人以上)	一般		250円	150円
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		100円	50円
		65歳以上		200円	120円
特別展	個人		1,500円の範囲内でその都度市長が 定める額		
	団体(10人以上)				

イ 本館展示室、本館研修室の使用料の額

区分	使用料			備考
	単位		金額	
本館展示室、 本館研修室	両方を使用する場合	営利又は営業以外の目的で 使用する場合		1日につき 10,000円
		営利又は 営業の目 的で使用 する場合	美術に関する催 物を行う場合	40,000円
			上記以外の場合	45,000円
本館研 修室の みを使用 する場合	営利又は営業以外の目的で 使用する場合	1時間につき 800円		
		営利又は 営業の目 的で使用 する場合	美術に関する催 物を行う場合	3,200円
			上記以外の場合	3,600円
展示スペース 本館屋外	営利又は営業以外の目的で使用する場 合	1日につき 5,000円		
		営利又は営業の 目的で使用する 場合	美術に関する催物 を行う場合	20,000円
			上記以外の場合	22,500円

(3) 利用状況

年 度	総入場者数(本館)
平成30年度	10,359人
令和元年度	9,226人
令和2年度	10,863人
令和3年度	7,502人
令和4年度	10,104人

(4) 事業概要

ア 展覧会事業

事業内容	開催期間	入場者数等
◆ 特別展		
札幌彫刻美術館 40年のあゆみ展	3. 7. 13-8. 29	3,608人 (令和4年度520人)
	3. 10. 1-4. 1. 16	
4. 1. 28-5. 31		
生誕100年 藤川叢三展	4. 6. 11-4. 8. 31	1,859人
建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ	4. 9. 10-12. 11	1,761人
札幌彫刻賞歴代受賞者パネル展	4. 9. 10-12. 11	3,135人
	4. 12. 24-5. 4. 16	
New Eyes 視線のはなし	4. 12. 24-5. 4. 16	1,265人
さっぽろ雪像彫刻展2023	5. 1. 27-1. 29	714人
◆ コレクション展		
はじめてのほんごうしん	4. 1. 28-5. 31	846人 (令和4年度519人)
本郷新・全部展 100の石膏像	3. 4. 29-4. 5. 31	4,583人 (令和4年度515人)
コレクション展2022-23<記念館>	4. 6. 11-5. 4. 16	3,852人

イ 貸館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
いけばな伝統文化宮の森教室発表会	4. 11. 12-13	97人

ウ 普及事業

事業内容	開催期間	入場者数等
子どもの美術体験事業 ハロー！ミュージアム	通年	769人
彫美連続講座2022	4. 5. 7 他2日	166人
造形教室	4. 8. 6 他1日	38人
札幌市民カレッジ講演会	4. 8. 29	15人
野外美術館のメンテナンスを学ぶ	4. 10. 1	22人
さっぽろ雪まつり出品	5. 2. 4-11	—
図書・情報コーナー	通年	—

エ 協力事業

事業内容	開催期間	入場者数等
学校教育への協力	4. 6. 21 ほか29日	494人
ボランティアの受入	—	155人

オ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
サンクスデー	4. 6. 26、4. 11. 3	768人

カ 第3回本郷新記念札幌彫刻賞

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に「本郷新記念札幌彫刻賞」を贈る事業。受賞作は、札幌市中心部の公共空間「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置される。また、本郷新記念札幌彫刻美術館において、受賞作家の個展を開催する。

6 札幌市民交流プラザ

本市における多様な文化芸術の中心的な拠点であるとともに、仕事に役立ち、暮らしをサポートする情報提供を行い、それらを通して多くの人が交流することを目的として整備し、平成30年10月7日に供用を開始。

本施設は、「札幌文化芸術劇場 hitaru」、「札幌文化芸術交流センターSCARTS」、「札幌市図書・情報館」からなり、札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発事業の一環として建設された、放送局やオフィス、公共駐輪場、駐車場などの施設も入居する複合施設「さっぽろ創世スクエア」の一部である。

(1) 施設概要

所在地：中央区北1条西1丁目

規模：敷地面積：11,676 m²

延床面積：37,332 m²



さっぽろ創世スクエア外観
低層部分が札幌市民交流プラザ

<施設内容>

ア 札幌文化芸術劇場 hitaru (3階～9階)

ホール (2,302席)、クリエイティブスタジオ (448 m²)、
中小練習室、控室

イ 札幌文化芸術交流センターSCARTS (1階・2階)

SCARTS スタジオ (82 m²×2)、SCARTS コート (165 m²)、
SCARTS ミーティングルーム (36 m²×2)、SCARTS モール (60 m²×3)

ウ 札幌市図書・情報館 (1階・2階)

レファレンスカウンター、ミーティングルーム、
コワーキングスペース、データベースコーナー

エ その他

カフェ、レストランなど



左上：札幌文化芸術劇場 hitaru
ホール客席

右上：札幌文化芸術交流センターSCARTS
SCARTS スタジオ

左：札幌市図書・情報館

(2) 令和4年度札幌文化芸術劇場 hitaru 事業概要

ア 創造事業

事業名	開催日	会場	入場者数
hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「フィガロの結婚」	5. 2. 26、28	ホール	2,818 人
hitaru オペラプロジェクト 関連事業：合唱オーディション	4. 4. 16	クリエイティブスタジオ	参加人数 51 人
hitaru オペラプロジェクト 関連事業：カバーキャストによるスペシャルコンサート～アンコウ先生のお話とともに～	4. 12. 23	ホール	825 人
Creative Art Mix ～RE:BORN～	5. 3. 11～12	クリエイティブスタジオ	472 人
Creative Art Mix ～RE:BORN～関連事業：ダンスワークショップ	4. 8. 21～24、 28	控室 401、クリエイティブ スタジオ	参加人数 65 人
hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」オーディション	5. 3. 18	ホール	参加人数 200 人

イ 鑑賞事業

事業名	開催日	会場	入場者数
山海塾「降りくるもののなかでーとぼりー」	4. 9. 24	ホール	中止
北海道新聞創刊 80 周年・UHB 北海道文化放送開局 50 周年 Daiwa House® PRESENTS Autumn Tour 2022 K バレエカンパニー「クレオパトラ」	4. 11. 7	ホール	2,071 人
hitaru のひととき「魅惑のミュージカルナイト～姿月あさと 35th Anniversary Festival～」	4. 5. 18	ホール	903 人
hitaru のひととき「尾高忠明 presents 偉大なる英国の巨匠たち」	4. 6. 18	ホール	1,020 人
hitaru のひととき「hitaru オペラプロジェクト モーツァルト『フィガロの結婚』関連事業 声優朗読劇 VORLESEN～フィガロの結婚～」	4. 11. 20	クリエイティブスタジオ	383 人
文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 2022 東京バレエ団<HOPE JAPAN 2022>	4. 7. 28	ホール	1,757 人
スターダンサーズ・バレエ団公演 バレエ「ドラゴン・クエスト」	4. 10. 22	ホール	1,174 人
共催事業 第三回さっぽろ落語まつり	4. 5. 27～29	ホール	4,685 人
共催事業 舞台「千と千尋の神隠し」	4. 6. 6～12	ホール	21,128 人
共催事業 ミュージカル「ミス・サイゴン」	4. 10. 7～10	ホール	11,954 人
共催事業 NORAH JONES JAPAN TOUR 2022	4. 10. 11	ホール	2,142 人
共催事業 2022 HTB ジルベスターコンサート	4. 12. 31	ホール	1,405 人

ウ 普及・育成事業

事業名	開催日	会場	入場者数
青少年向けバレエ鑑賞事業 (市内中学校 17 校ほか)	4. 7. 1	ホール	1, 929 人
クリエイティブスタジオ シネマシリーズ 4 映画へと導く映画	4. 4. 23	クリエイティブスタジオ	125 人
村川拓也「ムーンライト」	4. 5. 28～29	クリエイティブスタジオ	236 人
「ムーンライト」関連事業 中高生のための「ム ーンライト」レクチャー	4. 5. 28～29	SCARTS コート	57 人
第1回 hitaru 劇評入門～舞台公演を言葉に残す ～村川拓也「ムーンライト」	4. 5. 30	クリエイティブスタジオ	受講 16 人 聴講 34 人
劇団た組「ドードーが落下する」	4. 10. 22～23	クリエイティブスタジオ	530 人
大学連携事業 札幌大谷大学・札幌文化芸術劇 場 hitaru 連携事業 アートプログラム 2022 第 1 回 ミュージカル「ミス・サイゴン」見どころ・ 聴きどころ	4. 9. 16	クリエイティブスタジオ	103 人
大学連携事業 札幌大谷大学・札幌文化芸術劇 場 hitaru 連携事業 アートプログラム 2022 第 2 回 オペラ「フィガロの結婚」見どころ・聴き どころ	4. 11. 28	クリエイティブスタジオ	97 人

エ 交流事業

事業名	開催日	会場	入場者数
PLAZA FESTIVAL 2022 プラザ映像祭	4. 10. 7～9	クリエイティブスタジオ	473 人
PLAZA FESTIVAL 2022 「MORIHICO. Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ) ×プラザ マルシェ」	4. 10. 7～10	SCARTS モール A B	600 人

オ 舞台技術向上への取組

事業名	開催日	会場	入場者数
技術セミナー in hitaru 2022	4. 12. 6	ホール	70 人
「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」第 3 回札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術セミナー ーテーマ：見えないものを知るー	5. 1. 11～12	ホール	100 人
技術協力支援 (他の劇場、音楽堂等及び実演芸術 団体等に対する舞台監督等の技術協力支援)	—	—	8 公演 (協力公 演数)

(3) 令和4年度札幌文化芸術交流センターSCARTS事業概要

ア 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

事業名	開催日	会場	入場者数
SCARTS クリエイションプロジェクト(リサーチ)	—	—	—
SCARTS メディアアートシリーズ ++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌の高校生たち「地球をかたづける」ワークショップ成果展	4. 3. 12～4. 10	SCARTS モールC	860 人
SCARTS メディアアートシリーズ Side Effects 2022-2024「IEIE, Reflected:Phase1」展示: IEIE クロニクル	4. 8. 28～9. 13	SCARTS モールC	846 人
SCARTS メディアアートシリーズ SCARTS×SIAF ラボ 冬の展覧会 2023「雪にまつわるエトセトラ」	5. 2. 4～14	SCARTS コート、 SCARTS モールABC	2,800 人
SCARTS メディアアートシリーズ SCARTS× CoSTEP アート&サイエンスワークショップ「漂 う環境」	5. 2. 11～12	SCARTS スタジオ	5 人
SCARTS 連携事業 March de GRENIER (マルシェ・ ドゥ・グルニエ)	4. 4. 29～5. 4 4. 7. 29～31	SCARTS モールAB	840 人
大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 クラシックとジャズとの出会いー フランス編	4. 8. 17	SCARTS コート	91 人
大学連携コンサート 札幌大谷大学 ヴァイオ リンとヴィオラの響き～時代と楽器を超える調 べ～	5. 1. 5	SCARTS コート	110 人
第51回SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル さっぽろ天神山アートスタジオ 国際公募 AIR プログラム 2022-2023 展覧会「雪のうえにのび る道/The roads stretch on the snow」	4. 8. 19～21 5. 1. 10～22	SCARTS コートほか SCARTS コート	3,145 人 694 人
さっぽろアートステージ2022 ART STREET「キ ッズアートフェス」	4. 11. 7～23	SCARTS コートほか	1,889 人
アートステージ関連プログラム「祭太郎と一緒 に大きなオブジェを作ろう！」ほか	—	SCARTS モールABほ か	512 人
NoMaps2022	4. 10. 19～23	SCARTS コートほか	980 人
SCARTS パブリックリレーションズ あらためま して、SCARTS です ドキュメント展 2018-2021	4. 10. 7～10	SCARTS コートほか	416 人
SCARTS パブリックリレーションズ PLAZA FESTIVAL 2022 札幌芸術の森クラフトキャラバ ンワークショップ「街、森、クラフト」	4. 10. 8～9	SCARTS スタジオ	102 人
SCARTS パブリックリレーションズ 西2丁目地 下歩道映像制作プロジェクト	4. 4. 1～	西2丁目地下歩道	—
SCARTS パブリックリレーションズ SCARTS ア ニュアルレポート	—	—	—

イ 文化芸術活動支援事業

(ア) SCARTS 相談サービス 利用件数 53 件

(イ) SCARTS ラーニングプログラム

事業名	開催日	会場	入場者数
西 2 丁目地下歩道映像制作プロジェクト 小田香作品« Underground» スクリーン上映&トーク	4. 6. 11	SCARTS コート	88 人
あらためまして、SCARTS です オープンミーティング	4. 10. 10	SCARTS コート	44 人
さっぽろ天神山アートスタジオ北海道 AIR ミーティング「アーティストの滞在制作の現場 AIR in Hokkaido」	5. 1. 22	SCARTS スタジオ	話し手 14 人、聴講者 19 人

(ウ) 公募企画事業

(ア) 令和 5 年度に実施する公募企画事業の応募及び審査

SCARTS 企画公募 2023 応募件数 56 件、採択件数 4 件

(イ) 令和 3 年度に採択した事業の実施

事業名	開催日	会場	入場者数
令和 3 年度採択事業：あたらしい民話 presents さっぽろの民話	5. 2. 18～26	SCARTS スタジオ	514 人
令和 3 年度採択事業：North PRINT —北海道の現代版画—	5. 3. 8～16	SCARTS コートほか	3,564 人

(エ) 札幌文化芸術交流センターSCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

(ア) 特別助成事業 申請件数 17 件、採択件数 2 件

(イ) 一般助成事業 申請件数 50 件、採択件数 14 件

事業名	開催日	会場	入場者数
令和 5 年度募集説明会	4. 11. 26～27	控室 401	20 人
令和 4 年度活動報告会	5. 3. 26	SCARTS コート	37 人

(オ) アートコミュニケーション事業

事業名	開催日	会場	入場者数
講座	—	SCARTS スタジオほか	全 14 講座 参加総数 136 人
実践活動	—	さっぽろ創世スクエアほか	全 3 回 参加総数 38 人
人とアートをつなぐ SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」をふりかえる展	5. 1. 12～16	SCARTS スタジオ	274 人
「ひらく」をふりかえる展関連プログラム 鑑賞ワークショップ「コトバで紡ぐ音楽」	5. 1. 14	SCARTS スタジオ	7 人
「ひらく」をふりかえる展関連プログラム ひらく映画部の「ゆるゆる映画トーク会」	5. 1. 14	SCARTS スタジオ	16 人

「ひらく」をふりかえる展関連プログラム 鑑賞ワークショップ「みる・かんがえる・はなす・さく」	5. 1. 15	SCARTS1 モールC	18 人
「ひらく」をふりかえる展関連プログラム ふりかえりトーク「ひらくさんいらっしやい」	5. 1. 15	SCARTS スタジオ	25 人

ウ 文化芸術に関する調査研究事業

国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

(4) 広報・利用促進に関する事業

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS 等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

7 さっぽろ天神山アートスタジオ

札幌国際芸術祭 2014 の開催を契機に、旧天神山国際ハウス（平成 20 年閉鎖）を改修し、市内を始め国内外のアーティストが札幌に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス（※）」型のスタジオと、市民とアーティストが交流することができる機能を併せ持つ施設として、平成 26 年 5 月 31 日に開館。



アーティストが創造的活動を行う場を提供しながら、その活動を支援するとともに、市民がアーティストと交流し、アートの視点や表現に触れることを通じて創造性を高め、自ら地域の魅力や資源を再発見することで、地域の活性化に繋げることを目指している。

（※）アーティスト・イン・レジデンス：アーティストの滞在型創造的活動、またその活動を支援するシステム。創造的活動を行う者の移動を促進し、活動の活性化やキャリア構築を図るもの。

(1) 施設概要

所在地：豊平区平岸 2 条 17 丁目
 電話番号：011-820-2140
 F A X：011-820-2142
 開館時間：午前 8 時 45 分～午後 9 時
 休館日：月曜日（月曜日が祝日等の場合は翌平日）
 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
 建物構造：鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階建
 延床面積：1,668.88 ㎡

<施設内容>

展示室等	床面積 (㎡)	備考
滞在スタジオ A	19	6 室
滞在スタジオ B	53	6 室
滞在スタジオ C	73	1 室
交流スタジオ A	72	各 1 室
交流スタジオ B	71	
交流スタジオ C	60	



(2) 施設の利用料金

ア 滞在スタジオ

スタジオ	時間区分	使用料		
		1～7 日目	8～14 日目	15 日目以降
A	1 日（11：00～翌日 10：00） ※ 連続使用の場合は 11：00～翌日 11：00	770 円/日	530 円/日	390 円/日
B		2,130 円/日	1,460 円/日	1,070 円/日
C		2,930 円/日	2,010 円/日	1,470 円/日

10 月～4 月は暖房費を別途加算

イ 交流スタジオ

スタジオ	時間区分	使用料
A B C	午前（9：00～12：00）	1,700円
	午後（13：00～17：00）	2,000円
	夜間（18：00～21：00）	2,600円
	全日（9：00～21：00）	5,200円

時間区分を超過又は繰り上げて使用する場合には、1時間につき520円を加算

(3) 利用状況

ア 滞在スタジオ

	使用可能日数(※1)	使用日	使用率	使用者数(延べ)
平成30年度	4,667日	3,198日	68.5%	4,187人
令和元年度(※2)	3,621日	2,375日	65.6%	3,196人
令和2年度(※3)	4,628日	1,711日	37.0%	1,775人
令和3年度(※4)	4,654日	1,659日	35.4%	1,760人
令和4年度	4,667日	2,787日	59.7%	3,609人

(※1) 滞在スタジオの年間貸出日数(年末年始及び改修工事のための休館日除く) × 13室

(※2) 7/1～7/15及び9/1～10/31休館(改修工事のため)

(※3) 4/14～5/31新規利用者の受付休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※4) 5/4～7/12、8/2～9/30新規利用者の受付休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

イ 交流スタジオ

	使用可能日数(※5)	使用日	使用率	使用者数(延べ)
平成30年度	927日	335日	36.1%	3,205人
令和元年度(※6)	651日	297日	45.6%	3,167人
令和2年度(※7)	795日	113日	14.2%	961人
令和3年度(※8)	594日	119日	20.0%	1,329人
令和4年度	924日	288日	31.2%	2,841人

(※5) 交流スタジオの年間貸出日数(休館日除く) × 3室

(※6) 7/1～7/15及び9/1～10/31休館(改修工事のため)、
3/1～3/31一般利用休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※7) 4/14～5/31休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※8) 5/4～7/12、8/2～9/30休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(4) 事業概要

ア 市民交流関連事業

事業内容	開催期間等	参加者数等	摘要
天神山文化祭	R4.9.18	来場者1,074人 参加滞在アーティスト3人 外部協力者・団体6組	滞在アーティストと市民と地元団体が交流できる文化祭を開催。音楽演奏や展示のほか、滞在アーティストによるワークショップなどを実施

子ども向けプログラム「ぷりぷりぷりんとスリスリスクリーン」	R5. 2. 23	参加者 24 人	札幌市内の小学4年生～中学生を対象としたシルクスクリーンの図案制作、製版、印刷を行うワークショップを実施
庭プロジェクト	随時	-	滞在アーティストや来館者が施設周囲の花壇の整備等を通じて交流

イ 国際公募アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 事業

事業内容	アーティスト活動期間	概要
国際招へいプログラム「雪の上ののびる道」	リサーチ・作品制作 R4. 11. 1～12. 20 成果発表 R5. 1. 10～22 来場者 694 人	国際公募により選出した2組のアーティストが天神山アートスタジオで、それぞれインスタレーション作品を制作。市民交流プラザ内のSCARTSにて成果展示イベントを実施

ウ 滞在アーティストによる展示等

事業内容	開催期間	入場者数	概要
AIR アーカイブ展：アーティストは札幌でなにをした？	R4. 4. 29～ 5. 22	11, 081 人	過去にアーティストが滞在中に制作し、天神山アートスタジオに置き土産していった創作物の中から3件を選び展示
天神山 Jazz in Wood	R4. 7. 2	369 人	談話交流スペースでの無料コンサート
こどもワークショップ「ロックペイント」	R4. 7. 9	30 人	札幌在住の滞在アーティスト永田ちかこさんによるワークショップ
島袋道浩「Let's Make Cows Fly プロジェクトの予告展示」	R4. 7. 9～ 8. 3	6, 513 人	フランスで滞在制作された凧作品を新たな映像作品として北海道の牧場で飛ばし撮影する計画を告知する展示
植村絵美&マイケル・エディと話す会	R4. 7. 27	15 人	交流サロンで実施したトークイベント
アーティストトーク	R4. 8. 2	20 人	滞在アーティスト4人によるアーティストトーク
小西佐和展示「mink /sensorium ventorum」	R4. 8. 4～ 8. 6	728 人	和室と展示スペースの2箇所をつかい、それぞれインスタレーション作品を展示
パフォーミング・アーツ「わたし、と、ぼぼび」	R4. 9. 23～ 9. 25	30 人	テキスト・踊り・演技の3つの領域が重なり、互いにバランスを取り合う位置を探求した新作の公演
アーティストトーク	R4. 10. 15	15 人	滞在アーティスト5人によるアーティストトーク
深澤孝史 公開制作	R4. 11. 8～ 11. 11	1, 069 人	500m美術館での展覧会を控えたアーティストが、展示スペース及び共有スペースで制作を行った

ジャック・マックレーン「実践のための入門編」	R4. 11. 16～ 11. 30	2, 363 人	ドローイングシリーズ、アニメーション作品、自作のTシャツなど、100点近い作品を展示 11/18にはアーティスト・トークも開催
アーティストトーク	R4. 11. 27	10 人	ユニット TONBO によるアーティストトーク
Zoryu (造類, ズウルイ) 「OKAMA」	R4. 12. 2～ 12. 4	629 人	28 点のポートレート作品を中心にオブジェクトを含んだインスタレーション作品として展示
詩の朗読会	R4. 12. 4	8 人	香港からやってきたアーティストと日本画家らによる詩の朗読会
ラルー・ワヒウ・パールマナ 「デジタル絵画展覧会 Journey to the unknown」	R5. 1. 21、 22、24、25	426 人	滞在以前の2年間にデジタルで制作された絵画の出力を展示
北海道 AIR ミーティング「アーティストの滞在制作の現場」	R5. 1. 22	33 人	道内各市町村で活動する人たちとのミーティングを SCARTS で実施
諏訪部佐代子オープンスタジオ Uncertain Contours of Images in Tenjinyama	R5. 2. 26～ 3. 15	4, 279 人	展示スペースを制作スタジオとした公開制作を実施。アーティスト・トークも開催
アーティストトーク	R5. 3. 21	24 人	談話交流スペースでのアーティストトーク
ロレーヌ・トゥルシー「カラスのしなやかさ」	R5. 3. 28～ 4. 2	1, 239 人	滞在中の研究活動で取材した場所・人の写真プリントを中心に、資料などと構成したインスタレーション作品を展示

8 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館

地下コンコースをアーティストの発表の場として提供し、市民が国内外の多彩な芸術作品に触れる機会を創出するとともに、札幌の文化芸術を内外に向けて発信することを目的に、平成23年11月3日文化の日に開設。

年間4回の企画展を実施し、市民が気軽に様々な芸術に触れ、創造性を喚起する機会を創出している。



(1) 施設概要

所在地 中央区大通西1丁目～東2丁目（地下鉄大通駅～バスセンター前駅地下コンコース内）
 照明点灯時間 午前7時30分～午後10時

(2) 観覧料

無料

(3) 事業概要

事業内容	開催期間	概要
令和4年度		
vol. 38 「ながめのいい場所」	R4. 4. 23 ～ R4. 8. 3	インスタレーションを考察する展覧会として、5名の作家がガラスケースの空間を構成した。
vol. 38 「the WALL vol.3 国松紗智子 『Line of Sight - 視線』」	R4. 4. 23 ～ R4. 10. 26	長い壁面を活かした壁画シリーズの第3弾。繊細な線によるドローイングで100mを超える壁面を造形した。
vol. 39 「上遠野敏展『命と祈りの約束』」	R4. 8. 20 ～ R4. 10. 26	北海道の現代美術を牽引してきた作家を取り上げる個展形式の企画の第2弾。上遠野敏の長年にわたる造形行為の軌跡が展示された。
vol. 40 「笑う門には福きたる - Fortune comes in by a merry gate」	R4. 11. 19 ～ R5. 1. 11	6名のアーティストが参加し、コミカルさやユニークな視点をもった作品を展示。
vol. 40 「美術学生展『たまごのキミはきいろかオレンジか』」	R4. 11. 19 ～ R5. 3. 29	500m美術館のボランティアチームである第9期500メーターズが主体で企画立案した企画展。15組がイエローをモチーフに壁画を作成した。
vol. 41 「第10回500m美術館賞入選展」	R5. 1. 21 ～ R5. 3. 29	公募により選出された4組の作家による企画展 <入選者> 植村宏木、時代透析、florian gadenne + miki okubo、吉田未空 <グランプリ受賞者> florian gadenne + miki okubo

9 大通情報ステーション

平成 19 年 10 月 30 日、市内の文化芸術及び観光に関する情報の収集や提供を行う案内所として、地下鉄南北線大通駅コンコース内に「観光文化情報ステーション」として開設。

平成 27 年 2 月 18 日に、新たに整備された大通交流拠点地下広場内に移転した。

平成 27 年 4 月からは、文化芸術及び観光に関する情報のほか、市内の交通、イベント情報及び都心部のショッピング情報をあわせて集約。市民及び観光客にわかりやすく情報提供ができるよう機能の拡充を図り、「大通情報ステーション」として、まちづくり政策局都心まちづくり推進室が運営を行っている。

ステーションでの有人案内（日本語、英語、中国語対応）のほか、ホームページや隔週発行の情報紙「Weekly press（ウィークリープレス）」によるイベント等周知を行うことにより、文化芸術活動を行う個人や団体の広報活動を支援し、「表現する人」と「表現活動を観たい人」をつなぐパイプ役として機能している。

(1) 施設概要

所在地：中央区大通西 4 丁目地下

（地下鉄南北線大通駅コンコース横、大通交流拠点地下広場内）

開所時間：午前 10 時～午後 8 時（日・祝祭日は午後 7 時まで）

休業日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

規模：28.67 m²

開所：平成 19 年 10 月 30 日オープン（旧 観光文化情報ステーション）

平成 27 年 2 月 18 日リニューアルオープン（大通情報ステーション）

(2) 利用状況

年 度	来場者数	HP アクセス数	印刷物取扱数
令和 2 年度	26,936 人	75,240 件	1,416 件
令和 3 年度	13,475 人	64,948 件	930 件
令和 4 年度	38,311 人	73,131 件	1,735 件



大通情報ステーション



ホームページ

10 あげぼのアート&コミュニティセンター



あげぼのアート&コミュニティセンターは、平成16年3月に閉校した旧曙小学校跡施設を再整備し、文化芸術を発信し、地域とともに発展する施設として、平成21年11月23日にオープンした。

施設設置のメインテーマは「札幌の文化芸術の時代を拓く拠点」「文化芸術が地域力を高める拠点」「子どもも高齢者も暮らし続けられるまちの拠点」の3つであり、管理運営団体選定委員会の選考により選定された、特定非営利活動法人コンカリーニョが施設の運営を行っている。

(1) 施設概要

所在地：中央区南11条西9丁目

電話：011-513-6181

F A X：011-513-6182

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上3階建

敷地面積：6,785 m²

延床面積：3,266 m²（うち校舎棟 2,380 m²、体育館 886 m²）

主要施設：教室等（19室）、体育館

開設：平成21年11月23日

※旧曙小学校の開設は昭和26年8月（札幌最古のRC造校舎）

<施設内容>

ア 長期利用貸室

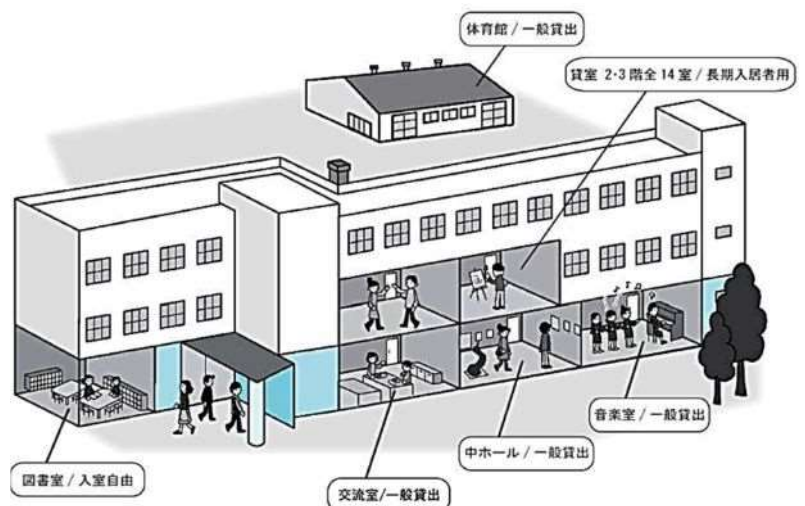
校舎棟2階、3階の全14教室を、長期利用スペースとして文化芸術活動等を行う個人、団体に貸し出している。

イ 開放スペース

図書室・グラウンドを、誰でも利用できるスペースとして開放している。

ウ 一般貸出しスペース

体育館・中ホール・音楽室・交流室を、時間単位・半日単位等により貸し出している。



(2) 利用料金

ア 長期利用貸室

室名	区分(室数)	面積	賃料(月額)
貸室 A	小(2室)	約6坪(3m×7.1m)	24,000円
貸室 B	中(2室)	約12坪(6m×7.1m)	42,000円
貸室 C	大(8室)	約19坪(9m×7.1m)	54,000円
貸室 D	特大(2室)	約28坪(9m×10m)	66,000円

イ 一般貸出スペース

室名・利用条件等	区分(曜日・時間帯等)	料金	備考
体育館	平日(午前・午後) 9:00~18:00	1,600円/1時間	11月~3月は冬期暖房費として別途1,100円/1時間
	平日(夜間) 18:00~21:00	2,800円/1時間	
	土・日・祝日 10:00~20:00	3,000円/1時間	
中ホール (15m×7.1m) ※ アート割引: 演劇や演奏、合唱、ダンスなどの文化芸術活動の練習時には、割引料金を適用する。	午前(9:00~12:30)	4,000円/区分 ※3,200円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途600円/区分
	午後(13:00~17:30)	4,400円/区分 ※3,500円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	4,800円/区分 ※3,800円/区分	
	終日(9:00~22:00)	13,200円/日 ※10,500円/日	
音楽室 (9m×7.1m)	午前(9:00~12:30)	2,300円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途500円/区分
	午後(13:00~17:30)	2,500円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	2,700円/区分	
	終日(9:00~22:00)	7,500円/日	
交流室	午前(9:00~12:30)	1,700円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途300円/区分
	午後(13:00~17:30)	2,000円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	1,700円/区分	
	終日(9:00~22:00)	5,400円/日	

(3) 利用状況 ※令和4年度

ア 長期利用貸室

稼働率	活動人数
100.0%	6,546人

イ 一般貸出スペース

室名	利用件数	稼働時間	稼働率	利用人数
体育館	1,046件	2,422.5時間	72.1%	17,414人
中ホール	530件	2,270.0時間	61.4%	6,779人
音楽室	535件	2,528.0時間	68.4%	5,123人
交流室	83件	479.0時間	13.0%	750人
合計	2,194件	7,699.5時間	51.0%	30,066人

11 ターミナルプラザことにパトス

ターミナルプラザことにパトスは地下鉄琴似駅の構内にあり、平成5年に開設された芸術・文化活動などを行うことができる多目的スペースである。

施設はイベントホール・スタジオ・ギャラリーからなり、コンサートやイベントなどの各種催し物のほか、会合や展示会・講習会など、幅広い用途に利用することができる。

管理運営は特定非営利活動法人コンカリーニョが行っており、貸館事業のほか、市民の芸術文化を応援する各種事業を実施し、地域に根ざした活動を目指している。

(1) 施設概要

所在地：西区琴似1条4丁目（地下鉄琴似駅地下2階）

電話：011-612-8383

FAX：011-612-6656

総床面積：534.29㎡

<施設内容>

ア イベントホール

固定席を持たないオープンスペース。

演劇・ダンス・コンサート・ピアノの発表会や作品展など多目的に利用可能。

利用時間：10：00～22：00 ※年中無休（受付時間13：00～20：00）

広 さ：156.52㎡（17.2m×9.1m）

利用料金：平日49,500円（全日）、土日祝日77,000円（全日）ほか

観客収容：最大99名

イ スタジオ（3室）

バンドやピアノなど各種音楽の練習用として利用可能。

利用時間：平日17：00～22：00、土曜13：00～22：00、日曜・祝日13：00～20：00

※月曜休業（月曜祝日の場合にはその翌日）

広 さ：スタジオA（15㎡）、スタジオB（11㎡）、スタジオC（10㎡）

利用料金：スタジオA・B・Cいずれも 一名での利用 1時間500円

三名以上での利用 1時間1,500円

ウ ギャラリー（2区画）

利用時間：スタジオ営業時間と同様

広 さ：ギャラリーA 33.51㎡（5.5m×5.6m）、ギャラリーB 33.51㎡

利用料金：ピアノ利用なし 1時間1,000円

ピアノ利用あり 1時間1,000円＋ピアノ利用料＋人数加算料

(2) 利用状況

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響により、休館したため、令和2年度実績はなし。

令和3年度の利用はイベントホール1件のみ。

令和4年3月1日から7月16日までは、改修工事のため休館した。

ア イベントホール

年 度	利用件数 (件)	利用人数 (人)	稼働率 (%)
平成29年度	586	20,227	54.56
平成30年度	604	20,450	56.24
令和元年度	476	17,247	44.20
令和4年度	168	2,237	15.64

※ 稼働率＝利用件数／利用可能件数（稼働日数×3区分）×100

イ スタジオ (3室)

年 度	利用人数 (人)	利用時間 (時間)	稼働率 (%)
平成29年度	1,522	1,963.5	35.25
平成30年度	1,418	1,616.5	29.16
令和元年度	1,042	1,446.0	26.05
令和4年度	0	0.0	0.00

※ 利用人数及び利用時間は3室の合計

※ 稼働率＝利用時間／利用可能時間数（1室あたり時間数×3室）×100

ウ ギャラリー

年度	A【壁面】	A【専有】	B【壁面】	B【専有】
	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)
平成29年度	10	34	4	112
平成30年度	7	44	0	102
令和元年度	0	31	0	138
令和4年度	0	0	0	50